

【子どもの遊びと発達】

遊びは子どもたちの様々な発達を促す力を持っています。砂遊びの中で子どもたちは触覚の能力を高め、スコップなどの道具の操作を獲得し、友達とのやりとりを経験します。しかし、子どもたちにとっての遊びとは、何かを発達させるためのもの(手段)ではなく、遊びそのものの楽しさや魅力が大切なのです。

そこで楽しく遊ぶためのポイントをいくつか挙げます。



① 子どもと遊ぶときには大人も楽しむ

一緒に遊んでいる大人が遊びの効果ばかりに着目していると、とてもつまらない遊びになってしまうことがあります。“遊び”は子どもにとって楽しいということに意味があるのです。そして、子どもが本当に楽しく遊びに携わっている時、子どもの脳は最適な状態となり、脳の発達を促すこととなります。

② 「してはいけません」と言わないで済む安全な環境と色々な準備

大人の「そこには行かないで！危ないでしょ！」といった言動は、せっかく楽しく遊んでいる場面を台無しにしてしまいます。時には高い所に登り、見ている方がハラハラするようなことをします。このような場面もただ危ないと止めるだけではなく、万が一落ちた時にも大丈夫なようにクッションを準備するなど安全面での対処に力を注ぐことが、子どもたちの感覚経験を保障する上で大切なことです。しかし、どうしてもしてほしくない遊び方もあります。そのような遊びに子どもが向かったとき「ダメ！」と止めるだけではなく「こんな風にしたらもっと楽しいよ」と具体的に次の適切な行動(遊び方)を促して下さい。

③ 子どもが安心して遊べる環境

子どもが安心して遊ぶためには物理的に安全な環境のみならず、子どもの心にとっても安全である環境が大切です。子どもがやりたいことを援助してくれる大人の存在や、その人に対する信頼感、不安感を生じさせない大人のやりとりなど、情緒的に安全な環境の中で、子どもたちの意欲や楽しさが高まっていくでしょう。

④ 子どもが主体的に遊ぶこと

実際には大人が子どもの遊びを提供していることが多いとはいえ、できる限り、子どもが主体的に遊ぶことが大切です。子どもたちの主体的な遊びを促すためには、まず子どもたちが好きな遊びから始めることが大切です。そのためにも日ごろ子どもたちがどのようなことを好んで遊んでいるかを見ておきましょう。

⑤ 様々な感覚を大切に

例えば、糊を使うとき、スティック状の糊を使わずに、瓶に入った糊を使うことで指に糊の感触を提供することができます。筆で絵を書くときも、指や手、スポンジなどを使ったスタンプを加えることで色々な感触を体験することができます。ただし、子どもたちが嫌がる感触を押し付けしないで下さい。

⑥ ほどよいチャレンジを大切に

子どもたちが最もいきいきと行える遊びは、ほんのちょっと頑張ると達成できる遊び、すなわち“ほどよいチャレンジ”がある遊びです。大きな目標に向かってチャレンジすることも大切ですが、多くの子どもはそのような大きな挑戦は苦手な、途中で挫折し敗北感を味わうことになりかねません。

遊びの中でたくさんの小さな達成感を積み上げること、それは自分の能力に対する自身にも繋がります。